

～新たな時代への対応 市政運営の転換局面を迎え～

市民の安全・安心、
新たな活力創出予算

令和2年度当初予算 一般会計予算

1,096億6,137万円

問い合わせ 財政課 ☎229-3124 FAX229-3388

市政運営の転換局面を迎える令和2年度。市民の安全・安心を守りつつ、人口減少社会においても、まちとしての新たな活力を生み出していくスタートの年として「市民の安全・安心、新たな活力創出予算」を編成しました。

一般会計予算は、前年度と比べて4.4%減の1,096

億6,100万円となりました。また、特別会計等を含めた総額は、前年度と比べて3.3%増の2,564億5,800万円となりました。

※文中や図表中の金額表記は100万円未満を四捨五入などしています。また、▲はマイナスを表しています。

会計別予算額

会計名		令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
一般会計		1,096億6,100万円	1,146億5,300万円	▲49億9,200万円	▲4.4%
特別 会計	国民健康保険事業	273億8,000万円	280億9,500万円	▲7億1,500万円	▲2.5%
	介護保険事業	285億 400万円	283億8,000万円	1億2,400万円	0.4%
	後期高齢者医療事業	68億9,800万円	64億2,100万円	4億7,700万円	7.4%
	市営浄化槽事業	4億5,500万円	4億5,100万円	400万円	0.9%
	共同汚水処理施設事業	1億2,600万円	1億 200万円	2,400万円	23.5%
	農業集落排水事業	6億1,100万円	5億8,000万円	3,100万円	5.3%
	土地区画整理事業	3億2,000万円	2億8,300万円	3,700万円	13.1%
	住宅新築資金等貸付事業	3,900万円	3,800万円	100万円	2.6%
	棕本財産区	100万円	100万円	0万円	—
小 計	643億3,400万円	643億5,100万円	▲1,700万円	—	
企業 会計	水道事業(支出)	125億1,100万円	109億8,700万円	15億2,400万円	13.9%
	工業用水道事業(支出)	2,200万円	2,500万円	▲300万円	▲12.0%
	下水道事業(支出)	189億4,500万円	184億 200万円	5億4,300万円	3.0%
	駐車場事業(支出)	3億2,000万円	3億 600万円	1,400万円	4.6%
	モーターボート競走事業(支出)	506億6,500万円	394億3,000万円	112億3,500万円	28.5%
小 計	824億6,300万円	691億5,000万円	133億1,300万円	19.3%	
合 計	2,564億5,800万円	2,481億5,400万円	83億 400万円	3.3%	

●●● 人件費、公債費、市債残高の状況 ●●●

人件費は会計年度任用職員制度の導入などから前年度比15.4%増の234億9,400万円、公債費は前年度比0.5%減の106億9,500万円を見込んでいます。

市債(臨時財政対策債を除く)の発行は51億3,300万円減となり、令和2年度末市債借入残高の見込み(臨時財政対策債を除く)は567億800万円と令和元年度末残高見込み(578億600万円)と比べ10億9,800万円減となりました。

臨時財政対策債…地方の財源不足を補てんするために、本来、国から地方交付税として交付されるべき額の一部を振り替えて発行する特別な地方債のことです。各地方公共団体が借り入れ、後年度の償還金は全額地方交付税に算入されます。

市債(臨時財政対策債を除く)の発行額と借入残高の推移※

